

NEWS

環境ビジネス創出会議 ビジネスセミナー

資源循環による脱炭素ポテンシャル

主催：愛知県及び環境パートナーシップ・CLUB(EPOC)

本セミナーは国の「まん延防止等重点措置」を延長する方針のためリアル開催は中止となり、令和4年3月18日(金)～5月20日(金)まで、EPOCチャンネルより配信されることになりました。

EPOCでは、循環ビジネス振興のため、愛知県と共同で「循環ビジネス創出会議」を開催しています。

今回は「資源循環による脱炭素ポテンシャル」をテーマとして、資源循環によりカーボンニュートラルを実現する分野・貢献度とその技術・事例を紹介し、各主体の直接的・間接的な排出削減への新たな視点を提案するものです。

・講演

講演名：資源循環による脱炭素ポテンシャル

講師：(株) ウェイストボックス

代表取締役 鈴木修一郎氏

・事例紹介

講演名：アルミの水平リサイクルによるサーキュラーエコノミーの実現と脱炭素への貢献

講師：ハリタ金属(株)

代表取締役 張田 真氏

①Prologue

②CE (Circular Economy) とは

③CE事例とCNへの貢献

④Epilogue

[愛産協会員企業による事例紹介]

講演名：廃油の燃料リサイクル・マテリアルリサイクルによる脱炭素への貢献

講師：(株) ダイセキ(愛産協正会員)

取締役副社長 山本哲也氏

- 1.ダイセキのご紹介と産業廃棄物リサイクル
- 2.「脱炭素」を巡るパラダイムシフト
- 3.廃油のリサイクルで「脱炭素」
- 4.サーキュラーエコノミーとマテリアルリサイクル最後に

- ・「脱炭素」←地球温暖化防止←待機中のCO₂濃度
- ・2030年目標も大切ですが、「無理なく」、「すぐ」できることは「すぐ」取り組む必要
- ・カテゴリ5「廃棄物処理」は初期投資不要
見直しによりコスト削減の可能性も！



と、まとめられました。(一部割愛) 事例紹介をする山本副社長

講演名：廃プラの固形燃料(RPF)技術等による脱炭素への貢献

講師：加山興業(株) (愛産協正会員)

代表取締役 加山順一郎氏

- ・加山興業の基本情報
- ・サステナブル経営の取り組み
- ・固形燃料(RPF技術)の潮流
- ・RPF技術による脱炭素への貢献
- ・今後の展望

講演の中で、廃棄物処理業における同社のビジネスモデルについて、RPFを巡る動向では廃棄物分野における2030年度の目標の深掘検討が進められており、RPFの製造量の引き上げなどが検討されているとのことでした。

今後の展望は、技能実習制度を活用した国際協力を推進されることでした。



事例紹介をする加山社長